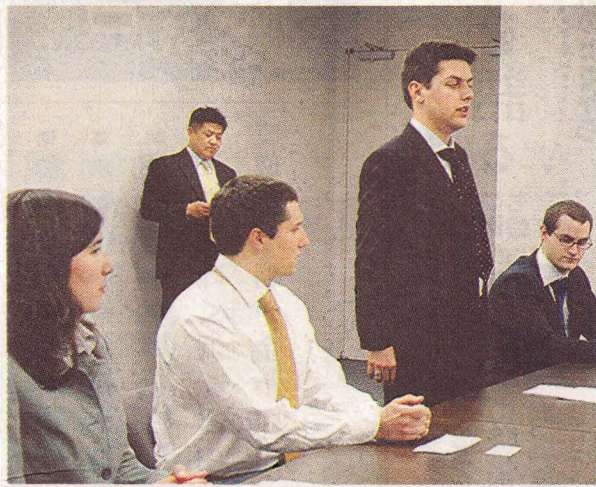


「言葉と文化学び糧に」

県庁 スイスの研修生が来訪



石川県国際交流協会「スイスのローザンヌ工
の招きで来日している」科大の日本語研修生が

日本語であいさつするスイスの研修生ら＝県庁で

一日、県庁を訪れ、三
国栄観光交流局長に來
日中の意欲を語った。
訪れたのは同協会の
「石川ジャパニーズ・
スタディーズ・プログ
ラム」に参加する男女
四人。五月末まで、ホ
ームステイや研修を通
して日本語や日本文化
などを学ぶ。
三国局長は「春には
石川でも桜が咲く。日
本の原風景とも言える
桜の花を楽しんでほし
い」とあいさつ。研修
生らは日本語で自己紹

介し「石川に來られた
を学んで糧にしたい」
のは光榮。言葉と文化
と話した。(佐藤航)

語学習得に意欲

スイス研修生

県国際交流協会の石
川ジャパニーズ・スタ
ディーズ・プログラム
受講のため県内を訪問

中のスイス・ローザン
ヌ工大の日本語研修
生4人は1日、県庁を
訪れ、三国栄観光交流
局長と懇談した。

4人は日本語研修が
終わると、日本の企業
でのビジネス研修が
予定されており、懇談
で代表のアリス・マル
ニヤンさん(25)は「し

っかりと日本語を身に
付け、日本文化を体験
したい」と意欲を示し
た。

研修生4人は先月28
日に石川県に到着し
た。5月29日まで県内
にホームステイをしな
がら県日本語・日本文
化研修センターに通
う。